

さざれ石

加藤正幸 かとうひふ科医院（伊勢原市）



さざれ石というと、「君が代」の詞に含まれる言葉のひとつです。さざれ石は細石のことで、細かい石の意味ですが、長い年月をかけて大きな巖の塊いわおになった石をさざれ石と呼ぶこともすくなくないようです。

この「君が代」の意味を日本人である我々もよく分からず歌っていることもあるかと思いますが、ラグビーワールドカップで活躍された日本代表チームが、2015年の宮崎キャンプで宮崎県日向市のおおみ大御神社を訪れ、必勝祈願し、南アフリカ戦で歴史的勝利を収め、当時、エディー・ジョーンズコーチは、勝利のためには、体を鍛え、戦略を立てることに加え、国を思う心が必要だと話されていたようです。2019年にも再度訪問され、さざれ石は小さな石が集まって、大きな巖となったこと、チームのメンバー一人ひとりの心がひとつになれば、大きな力、巖となることを説明され、「君が代」を歌われたそうです。

ラグビーで国の代表選手になるための条件は、他の国の代表歴がなければ、①自分の出生国 ②両親、祖父母の誰かが生まれた国 ③3年継続して居住した国（2021年12月まで、ただし2022年1月からは5年の居住が求められる）であれば可能なのです。つまり、日本国籍などにかかわらず、日本に長く永住されている方は日本のために日本代表で戦ってくださったわけです。2019年のラグビーワールドカップの素晴らしい活躍は、日本の心を持った素晴らしい多くの外国人選手に支えられていたのです。ますます応援したくなります。

さざれ石は日本各地にあります。岐阜県揖斐川町春日村のさざれ石公園のさざれ石が君が代で歌われているさざれ石と言われています。ほかにも京都府京都市の勧修寺やラグビーワールドカップ日本代表が訪れた宮崎県日向市の大御神社などがあり、県内ですと鎌倉市の鶴岡八幡宮や寒川町の寒川神社にもあります。今回の写真は寒川神社で撮影したさざれ石です。ぜひ探してみたいかがでしょうか。